

## 『第 17 回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』開催報告

関西支部では、令和 3 年 9 月 17 日(金)に、『第 17 回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』を開催しました。本発表会は、40 歳以下の技術者・研究者の発表技術向上と研究発展に資することを目的としています。コロナ禍の下、昨年度は現地発表とオンラインの融合型でしたが、今年度は完全にオンラインで運営しました。

本発表会では 2 年前から、多様な発表に対応するために 3 種類のセッションを設けております。修士論文や博士論文の発表会に繋がる、比較的完成度の高い「研究・討議」、修士論文や博士論文の研究に着手したばかり、あるいは研究の方向性を模索する段階での発表を想定した「萌芽的研究」、所属組織での新技術の利用や実務業務内容の報告を中心とする「社会人による研究・技術報告」です。「研究・討議」に 8 編、「萌芽的研究」に 4 編、「社会人による研究・技術報告」に 6 編の発表が行われました。

「研究・討議」セッションでは、写真測量や GIS、衛星リモートセンシング等、多岐にわたる質の高い研究成果が発表されました。一方、「萌芽的研究」セッションでは、研究の方向性や直面している課題、解析の進め方等が報告され、支部役員を含む参加者から具体的なアイデアが提示され、和やかな雰囲気意見交換がなされていました。「社会人による研究・技術報告」セッションでは、依頼された業務の中で発生した課題に対し、対処する方法や結果が具体的に示されていました。社会人の聴講者の関心も高く、多くの質問が寄せられていました。

閉会式では、本支部役員の審査に基づき、以下に示す 4 名に「優秀研究発表賞」が授与されました。本支部では、来年度以降も本発表会を継続していく予定です。特に、今回、社会人セッションが盛況に終わったことを受け、今後もより多くの若手社会人が発表する魅力を感じるような環境づくりに取り組んで参ります。支部役員一同、より多くの若手技術者・研究者の参加をお待ち申し上げます。

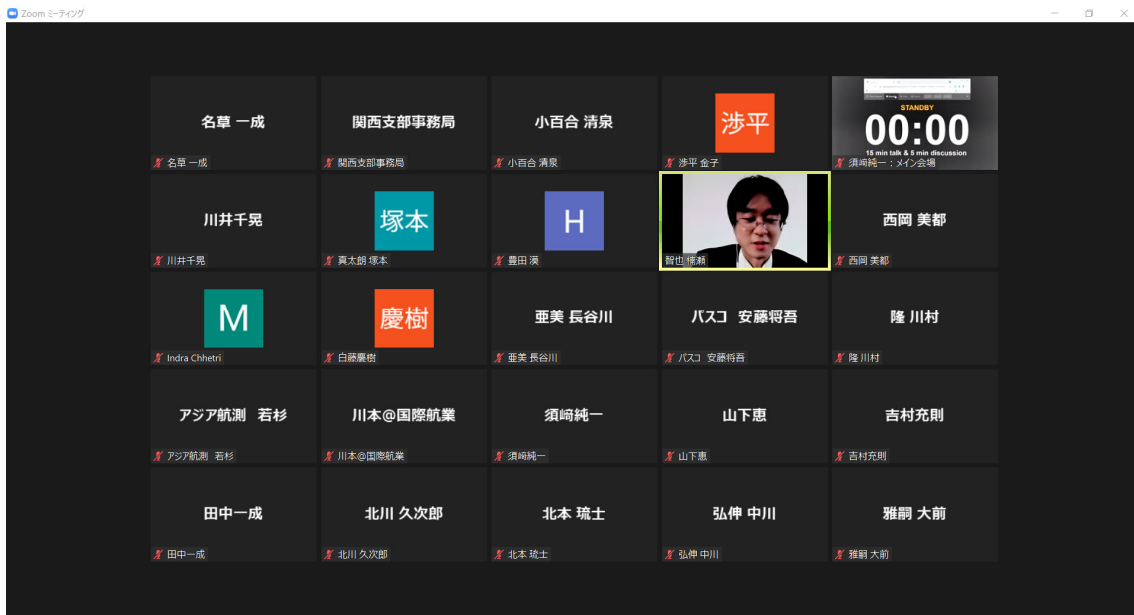
### 優秀研究発表賞

楠瀬 智也 (京都大学大学院):多時期 SAR 画像を活用した土木インフラの災害発生箇所抽出手法の開発

豊田 漠 (東京農工大学大学院):地上ベースのリモートセンシング手法と群落光合成モデルを用いたイネバイオマス量の時系列推定

西岡 美都 (東京農工大学大学院):表面凹凸を考慮した圃場スケールでの斜面別熱収支の推定の試み

川本 悠暉 (国際航業(株)):3 次元道路台帳附図の作成仕様の検討結果について



Zoom を用いた閉会式の様子